第237号

送

迎

の

実態

を把

握

## るた め の調 查

福祉有償運送の実施に係る実地調査が行われる

で す。 送迎実態の把握をするための調査 この調査は毎年行われており、

ボランティアに対する点呼の方法 るのかを確認されていました。 者の登録申請書、送迎料確認証な や車両の運転前の点検方法や利用 **書及び車両点検表」の確認や運転** この必要

量類がきちんと揃ってい 初めに野田係長は、「活動報告

ボランティアさんとの

は運転ボランティアさんとのコミ 野田係長より「『さわやか』で



富永恭子主任

野田久敏係長

ュニケーションはどのようにされ

コミュニケーションは り、それに対して「活動報量長 修交流会やバスハイクを行ない、 び車両点検表の中に『飲酒の有無 ていますか」と質問があり、「研 という欄を設け、注意喚起を行っ ようにしていますか」 と質問があ |交流を行っています」と説明しま 事務局やボランティアさん同士の た また「飲酒運転防止対策はどの

動の前日は、お酒を控えるように 気をつけているようです」 と説明 運転ボランティアさんは送迎活

> の調整ができるのであれば日曜日 あるので、参加が難しいので日程

にしていただきたいとお願いをし

フンティアさんの不足により週三 万全員を送迎ができていますか」 5質問があり、 それに対して 「ボ しました。 次に「登録されている利用者の

明しました。 多くおり、送迎を待っていただい 回往復の送迎ができていない方も ている方もたくさんいます」と説

福祉有償運送」について 続いて、「さわやか」からの要 話せる場を設けてほしい

65

平日に行われており、運転ボラン 送』について話せる場を設けてほ 望として、 昨年同様、 会社や企業 を図るための『フォローアップ研 事業の送迎活動者に対して自分の などのOBの方々に『福祉有償運 しいと再度お願いしました。 ティアさんは、送迎活動に支障が 運転技術の再確認とスキルアップ また昨年度から、福祉有償連送 が行われていますが、研修が

ル。で展示ブースを確保するので れる『市民ふれあいフェスティバ 日(日)にウエルとばたで開催さ 最後に野田係長は、十一月二十

## インフルエンザの流行の季節がやってきました

介護保険と

閉鎖になったところもあります。 九州市内の学校ではすでに学級 ンザの流行が早いようです。 北 今年は例年になくインフルエ 基本的なことですがうがい・

**于洗いを行いましょう** 

スクの着用もお忘れなく。 ティアさんや利用者の方だけ また、咳エチケットとしてマ ボラ

> ご連絡ください。 いいたします。 されましたら、必ず事務局まで でなくその同居されているご家 族の方がインフルエンザと診断 ご協力をお願

ルエンザに負けな がけましょう! い体力づくりを心 日頃からインフ になります。

福祉有償連送の市民への啓発や各 事業所のパネルやチラシなどを展 集に役立ててほしいと話されました。  **不し、運転ボランティアさんの募** 

ので、ご協力をお願いしますと話 新登録の申請が来年の三月にある また、自家用有償旅客運送の更 十一時三十分に終了しました。

## 歳にともなう介護予防・生活支援サービス 北九州市障害福祉団体連絡協議会(障団連)第2回全体会 事業について

(以下障団連)主催の平成二十八年度第二回障団連全体会が開催されました。 ざわやかから四名が参加十月二十二日(土)十時よりウエルとばた六階六AB会議室におりて北九州市障害福祉団体連絡協議会)

いました。 て」ということで勉強会を行 生活支援サービス事業につい 十五歳問題に伴う介護予防・ 今回の研修会のテーマは「六 障団連の各団体から約三十五名の参加がありました。

いただきました。 九州市の担当の方に説明して 具体的にどうかわるのかを北 予防・生活支援サービス事業」 北九州市が独自で行う「介護 「全国一律のサービス」から ビスの一部を国が定めていた た方が利用する介護保険サー へ順次移行することによって、 十月から要支援の認定を受け 北九州市では平成二十八年

す。 回のテーマは六十五歳問題で 両親や兄弟もいずれ六十五歳 障団連の北原守会長は「今 障害福祉サービスの係わり 当事者の皆さんをはじめ、

ので真剣に考えていかなけれ ビスの問題が係わってくる 今後介護保険と障害福祉サ

> ました。 消法の条例づくりに向けて協議を と一緒に勉強していきましょう。 ばなりません。 田津真一氏と同局障害者支援課障 域支援担当課総合事業担当係長 しくお願いします」と挨拶があり 重ねながら行っていますのでよろ 北九州市からは保健福祉局 また、障団運でも障害者差別解 今日は皆さん 地

加されました。 害者事業支援係長 樋口聡氏が参

するサービス~」と題して田津係 サービス事業~要支援認定者に対 誕生を受けた方で、尚且つ訪問介護 長は「介護予防・生活支援サービス (ヤムヘルプサ 業とは介護保険の要支援一・二の 研修会は「介護予防・生活支援

見直していく制度改正が平成 年四月からはじまりました。 全国一律のサービス ビス)及び通所公護 から市町村の事業に (デイサービス)が

(裏面につづく)